

まちむら交流きこうの令和5年度における地産地消の取組み

令和6年3月15日

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構

I 全国農産物直売ネットワークの活動

全国の農林水産物直売所のネットワークづくりと情報発信を目的に平成18年度に発足。農業の6次産業化の提唱者である、今村奈良臣東京大学名誉教授が初代代表。直売所を取り巻く新たな課題に対応し、直売活動の質の向上と持続的な展開に向けた活動を進めている。

- ・ 役員 代表 染谷 茂 (株) アグリプラス取締役会長 (農産物直売所かしわで)
副代表 山口 成美 (有) シュシュ代表取締役 (おおむら夢ファームシュシュ)
副代表 木村 則夫 (株) 秋津野 代表取締役 (きてら、秋津野ガルテン)
幹事 叶野 由佳 (株) 産直めぐり 取締役店長 (山形県鶴岡市) 他14名

・ 会員数 50 組織・個人

・ 直近の主な活動

1. 第20回 全国農林水産物直売サミットの主催

最先端の直売所の事例紹介、課題別8つの分科会、地域の食を楽しむ交流会、4コースの直売所視察を通じて、全国の直売所関係者の連携と交流を深めた。特に今年度は第20回目の節目として、直売所の目的と役割を再考・評価し、日本の農林水産業と地域づくりを足元で支える直売所の持続的な発展と未来に向けた挑戦を全体テーマとした。

- ・ 日程 令和5年11月16日(木)～11月17日(金)
- ・ 場所 栃木県宇都宮市、栃木県内の農林水産物直売所
- ・ テーマ 「未来へつなげる直売活動 ～直売所の持続と挑戦～」
- ・ 参加者 全国の直売所関係者約300名

- ・ 内容 ■講演「直売所を核に、コミュニティビジネスから地域商社へ」
(株) ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長(宇都宮市) 松本 謙
■リレートーク
(株) もてぎプラザ代表取締役/道の駅もてぎ駅長(茂木町長) 古口 達也
(株) 道の駅しもつけ 取締役・駅長 (下野市) 後藤 勲
(株) たくみの里 代表取締役 (群馬県みなかみ町) 西坂 文秀

■分科会 ※今の直売所が抱える課題をテーマにした8つの分科会

- ①直売所の目的と役割を再考する ～新たな食料・農業・農村基本法を視野にして～
- ②中山間地域・小さい直売所の経営戦略 ～今、進めるべき支援策は何か～
- ③お客様が期待する、直売所のイベント事例 ～コロナ後のイベントのあり方とは～
- ④直売所だからできる、営農支援と農業振興 ～地域の未来を見据えた戦略～
- ⑤直売所が自ら行う、売れる加工品づくり ～商品開発の地域拠点として～
- ⑥直売所からの効果的な情報発信とは ～POP・SNSの活用と情報リテラシー～
- ⑦生産者が出荷したくなる直売所運営 ～地場産物売り切る知恵と工夫～
- ⑧直売所スタッフの人材育成と定着

■現地視察(栃木県内全4コース・19店舗)

(視察先) 道の駅サシバの里いちかい/道の駅もてぎ/道の駅ましこ/道の駅にのみや/
道の駅はが/まちの駅新鹿沼宿・物産館/農産直売所あぜみち/だいやの森・旬菜館/
道の駅うつのみやろまんちっく村/若竹の杜若山農場/道の駅みぶ・農家の直売所/
道の駅どまんなかたぬま朝採り館/イオンモール小山どまんなかマルシェ/道の駅しも
つけ/吉田村 VILLAGE/農産物直売所さくら/道の駅やいた/道の駅東山道伊王野/
道の駅湯の香しおばら・アグリパル塩原

2. 全国農産物直売ネットワーク役員会の開催及び提言書等のとりまとめ

(1) 役員会の開催(全4回)

(2) 食料・農業・農村基本法の改正に向けた本会提言書のとりまとめ

①「食料・農業・農村政策審議会 基本法検証部会」の中間とりまとめ(案)に対する
意見提出及び意見提出の呼びかけ(7月)

②「第20回 全国農林水産物直売サミットにおいて集約した提言書 未来へつなげる
直売活動 ～直売所の持続と挑戦～」の提出及び公表(12月)

II 「地域の食の絆強化推進運動事業」の取組み

(農林水産省 農村振興局 都市農村交流課/農山漁村発イノベーションサポート事業)

当機構では、平成21年度より地産地消の推進に関する農林水産省の補助事業を担当。

令和2年度より「地域の食の絆強化推進運動事業」を実施し、施設給食における地場産物の利用拡大に向けた事業を推進。給食現場と生産現場をつなぐ「地産地消コーディネーター」に着目し、これらの登録、育成、派遣および情報発信を進めた。

1. 地産地消情報発信

(1) 地産地消コーディネーター会議の開催(全2回)

病院・企業など施設給食における地場産食材の活用を進める実践者を招聘し、取組内容や工夫、今後の効果的な推進方策に関して意見交換を行い、情報共有を進めた。

(メンバー)

粟村 三枝 笠岡中央病院 栄養科科长(管理栄養士)[岡山県笠岡市]

石井 洋子 JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 患者総合サポートセンター[神奈川県伊勢原市]

大橋 佐智子 彦根市立病院 栄養治療科科长補佐(管理栄養士)[滋賀県彦根市]

尾高 恵美 (株)農林中金総合研究所 リサーチ&ソリューション第1部[東京都]

櫻井 清一 千葉大学大学院園芸学研究院 教授[千葉県]

前田 翼 (株)大塚製薬工場 総務部社員食堂 係長(管理栄養士)[徳島県鳴門市]

山際 博美 (株)山際食彩工房 代表取締役[福島県会津若松市]

吉永 さおり 社会福祉法人 悠久会 栄養士[長崎県島原市]

(2) 給食事業における地場産物活用推進リーフレットの作成

給食事業での地場産物活用の工夫や地場産物の使い手と作り手をつなぐ「地産地消コーディネーター」を紹介するリーフレットを作成し、配布およびホームページで公開。

(3) 令和5年度 地産地消活動報告会

地産地消コーディネーター派遣事業の実施内容と成果の共有を目的とした報告会を実施。

・日程 令和6年3月15日(金) 13:30~17:00

・場所 東京・神田 (YouTube ライブ配信も実施)

・参加者 会場参加27名、ライブ配信54名、アーカイブ配信78名(暫定数)

2. 地産地消コーディネーター育成研修会の開催

地産地消コーディネーターの育成を目的とした研修会を実施。過去の地産地消コーディネーター育成研修会の講座内容は、全てアーカイブ配信中(視聴は事前登録制)

- ・日 程 令和5年11月29日(水) 13:30~17:30
- ・会 場 JA東京むさし「小平ファーマーズ・マーケット」2階会議室(東京都小平市)
- ・参加者 会場参加34名、ライブ配信160名、アーカイブ配信205名
- ・内 容 講座①「地産地消コーディネーターの仕事と心得」
 特定非営利活動法人素材広場 理事長 横田 純子
 講座②「(株)大塚製薬工場の社員食堂が進める地産地消の取組」
 (株)大塚製薬工場 総務部 社員食堂 管理栄養士 前田 翼
 講座③「学校給食への出荷を中心とした地場産農産物増産の取組」
 JA東京むさし小平支店 指導経済課 梯 浩和
 講座④「地場産物供給を支える雲南市(行政)の取組」
 雲南市 農業畜産課 産直振興推進官 須山 一
 総括 千葉大学大学院園芸学研究院 教授 櫻井 清一

3. 地産地消コーディネーター派遣事業

施設給食での地場産食材供給体制づくりの構築に向けた専門家派遣事業を実施した。各地域に3回程度専門家を派遣し、地場産活用の推進に向けた助言を通じて、利用拡大を推進。

当機構では専門人材として、給食事業での地場産物活用について実績と知見を有する「地産地消コーディネーター」を約60名登録している。

■令和5年度の派遣地域・団体等と派遣専門家

都道府県	応募者名	派遣専門家 ※敬称略
福島県	郡山市教育委員会 学校教育部 学校管理課	管理栄養士、食育・学校給食アドバイザー 吉原 朋子
埼玉県	熊谷市教育委員会	女子栄養大学 名誉教授 金田 雅代 中京学院大学中京短期大学部 非常勤講師 遠山 致得子
埼玉県	鶴ヶ島市学校給食センター	(一社)日本協同組合連携機構 食育食農支援チーム 加藤 美紀
埼玉県	小川町教育委員会 小川町学校給食センター	NPO 法人愛媛県有機農業研究会 理事長 安井 孝
東京都	社会福祉法人砂原母の会 幼保連携型認定こども園すなはら	学校給食地産地消食育コーディネーター・ 元長野県山形村立山形小学校 栄養教諭 杉木 悦子
佐賀県	学校法人洗心学園 幼保連携型 認定こども園 サールナートこども園	西九州大学健康栄養学部 健康栄養学科 学科長・准教授 福山 隆志
長崎県	長崎大学教育学部附属小学校	料理研究家、野菜ソムリエプロ 牛原 琴愛
鹿児島県	始良市教育委員会	袋井市教育委員会 おいしい給食課 石塚 浩司